



日本の“宝島”あまくさ

ほんど

まちづくり協議会だより

最初にチャレンジするファーストペンギン求む!

まちづくりは人づくりといわれます。人が人を呼ぶ、思いを共有する仲間どうしのつながりの大切さ、地域に期待感をもちたす仲間を迎え入れることの大切さ、そのうえで中心になるキーマンを見つけることが最大の課題です。そのうえで「あるものを探す」うちのまちには魅力がないという人もいますが、ちょっと視点を変えて探してみると素晴らしい宝物が見つかるはず。探すものはモノだけではありません。人も地域の財産です、地域にあったものを自分たちで考え自分たちの手で「ゼロ」から立ち上げて、チャレンジ精神を忘れずまちおこしをしていきましょう。

昨年度、人材（財）養成講座をシリーズで開催しました。やねだんの豊重哲郎さん指導の下「地域リーダーとは!」「なぜいま地域リーダーが必要か!」をテーマに講義を行いました、皆さん熱心に受講していただきました。

私はこの中から、ファーストペンギンが生まれて欲しいと願っています。誰も飛び込まない海に最初に飛び込むペンギンはリスクだらけ、でも誰かが飛び込まないといつまでたっても何も起きない。飛び込まないペンギンでい続けると現状維持どころかどんどん後退してしまう。そのことは誰もが頭では解っているはずだけど、失敗せずに来た人はなかなか飛びこめない。もちろんってはいけないリスクをとるのは間違いますが、問題なのは、何も行動をとらない、チャレンジして失敗するよりも何もしないこと、そうすると現状維持も危うくなってしまわないのでしょうか。

地域の未来に、皆さんそれぞれに、不安や危機感をお持ちだとは思いますが。

不安と危機感似ていて違います、アクションをとるかどうかが違います。不安な人はなるべく行動を起こさないが、危機感のある人は行動を起こします。

天草には、たくさん宝はあります、皆さんと一緒に新しい価値を創造しましょう、次なる世代に新しい魅力ある天草を創っていきましょう。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol. **22**

平成31(2019)年4月1日号

目次

- 会長あいさつ……………P 1
- 第2期本渡地域まちづくり計画を策定……………P 2
- 平成30年度事業実績報告……………P 3～5
- 各地区の話題……………P 6～7
- ふるさと応援寄附金のお礼など…P 8

平成30年度 事業実績報告

本渡まちづくり協議会では、「まちづくりは“人”づくり」をテーマに、地域を担う人材の育成や地域の活性化に向けて、「まちづくり研修事業」や「人材育成研修事業」などを実施しました。



▲豊重 哲郎氏

地域づくりは時間をかけじっくり取り組む必要があること、集団の中には、3割の

【参加者】47人

【講師】柳谷自治公民館長 豊重 哲郎氏
 【期 日】平成30年11月14日
 【場 所】天草市民センター 第3会議室

まちづくり 人材育成研修
 まちづくり人材育成研修は、まちづくりを推進する人材の育成を目的として研修を行うものです。今年度は、各地域から推薦された次世代リーダー候補者の方を対象に、リーダー育成講座を4回開催しました。

◆第1回

【講師】社会福祉法人姫戸ひかり会高齢者福祉施設 深谷 誠了氏
 【期 日】平成30年12月19日
 【場 所】天草市民センター

◆第2回

無関心や1割の反目が存在する。そういった方には、リーダーが直接働きかけてもらえない。調査や取材を通し、対応策を考え、子どもから働きかけを行うなど工夫していくことが必要であること、地域が自立して持続的に活動を行うためには、自主財源を確保すること、子どもへの教育や高齢者が安心して暮らせる地域づくりが必要なことなどを話していただきました。



▲深谷 誠了氏

【参加者】47人



▲古田 妙子氏

入所者の方の多くは、自宅がいろいろ我慢している。少しでも楽しく過ごしてもらえよう、施設でも在宅であるような温かくてリラックアスできる居場所づくりへの取り組みの紹介がなされました。また、上天草高校、上天草市と一緒に上天草ちいきKAI GO・REBORN・PRO JECTを実践されています。学校に専門家を派遣し、介護士を高校生に体験してもらい、人手不足がちな介護業界へ関心をもってもらい、地元就職へつなげていくことを目的に3者が協力して実践されています。

◆第3回

【講師】Helloさつま 代表 古田 妙子氏
 【期 日】平成31年1月13日
 【場 所】亀場地区コミュニティセンター視聴覚室、調理室
 【参加者】44人

自主財源を稼ぐコミュニティビジネスの事例として、これまで廃棄されていた農産物を加工することで、自らのみならず、地域の農家の収入も向上する取り組みを紹介していただきました。開始当初は、経済的な投資はせず、町の公共施設でみそづくりや農産物の加工を始められたが、数年は賃金なしで、懸命に活動されたとのことでした。その後、ネットショップの開設や自宅に加工所を建設されるなどして、現在、売上げを伸ばされています。また、経営的には、ロスが発生しないこと、商品は軽くて使いやすく、長期保存できるものが向いていることも説明していただきました。他にも、調理室に移動し、カウバックに充填する実演も行っていました。

掘り起こそう本渡の宝 伝えよう本渡の魅力

～第2期 本渡地域まちづくり計画を策定～

▲第三天草瀬戸大橋イメーシ図

本渡まちづくり審議会（天草市の諮問機関。本渡まちづくり協議会委員で構成）と天草市では、「第2期本渡地域まちづくり計画」を策定しました。

この計画は、本渡地域の目ざす姿を展望し、地域住民や民間企業・団体、行政などが一体となって取り組むべきまちづくりの方策などを定めたものです。計画期間は平成31年度から同34年度までの4年間です。

計画の策定にあたっては、昨年6月、本渡まちづくり審議会が天草市から計画策定についての諮問を受け協議をスタート。第1期計画の評価・見直しを行うとともに、10地区振興会から事業提案があったものなどを基に3回の審議を経て2月15日に計画書を答申として天草市へ提出。天草市では答申された計画を基に策定したところです。

今回は、第2期本渡地域まちづくり計画の概要についてご紹介します。（別紙 概要版をご覧ください。）

第2期本渡地域まちづくり計画

1 計画のあらまし

計画策定の趣旨や位置づけ、計画の期間、体系図を定めています。

2 本渡地域の概要

計画を策定するにあたって、基礎的な数値（地理、面積、人口等）をまとめています。

3 計画の基本方針

本渡地域が目指す姿（理念）や6つの部門（産業経済・観光文化・地域振興・教育・保健医療福祉・生活環境防災防犯）ごとに方針を定めています。



4 分野別行動計画

6つの分野ごとに具体的な方策を定め取り組んでいくこととしています。

主な事業としては、未来の大人応援プロジェクト（SBP）（内容は4ページをご覧ください）、地域農業の推進、広報活動、公共交通整備、まち婚、人材育成や研修を進めていくこととしています。

5 地域別計画

本渡地域内10地区ごとに各地区的特色や課題、行動計画について定めています。



▲中川竹治会長から中村五木市長に答申書が手渡されました

■平成30年度 事業実績一覧

実施期日・期間	「事業名」(実施場所) 事業内容	参加者
平成30年 6月11日	「第1回 まちづくり協議会」会議 (ポルト) 平成29年度 事業実績・収支決算の報告・承認 平成30年度 事業計画・収支予算の審議・決定	22人
平成30年 8月16日 ～ 8月19日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(三重県伊勢市) 第3回全国高校生SBP交流フェア視察 事例発表・質疑・審査、販売交流会(夜の市)、セミナーなど	2人
平成30年 9月10日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校) 岸川政之氏の講演会、三重県立南伊勢高校事例発表、両校による意見交換会	約250人
平成30年10月 1日	「Vol.21 まちづくり協議会だより発行」事業 (本渡地域配布) 平成30年度 事業計画・収支予算、第3回全国高校生交流フェア内容紹介、各地区の話題、地域おこし協力隊の活動報告などを掲載	—
平成30年10月25日 ～10月27日	「まちづくり研修」事業 (島根県邑南町) A級グルメ構想 ※波多コミュニティ協議会(島根県雲南市)は、交通事情により実施できませんでした。	16人
平成30年11月14日	「まちづくり人材育成研修」事業 (天草市民センター第3会議室) 講師：柳谷自治公民館長 豊重 哲郎氏 テーマ：「地域リーダーとは」	47人
平成30年12月10日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校ほか) 岸川政之氏による授業、高校、本会との協議、市長訪問	33人
平成30年12月19日	「まちづくり人材育成研修」事業 (天草市民センター大会議室) 講師：社会福祉法人姫戸ひかり会高齢者福祉施設 ひかりの園施設長 深谷 誠了氏 テーマ：「遠くの親戚より近くの他人」	47人
平成31年 1月13日	「まちづくり人材育成研修」事業 (亀場地区コミュニティセンター視聴覚室、調理室) 講師：Hello さつま代表 古田 妙子氏 テーマ：「稼げる地域はいい地域」	44人
平成31年 2月20日	「まちづくり人材育成研修」事業 (天草市民センター大会議室) 講師：柳谷自治公民館長 豊重 哲郎氏 テーマ：「未来のリーダーのみなさんへ」	54人
平成31年 4月 1日	「Vol.22 まちづくり協議会だより発行」事業 (本渡地域配布) 平成30年度 事業報告、本渡まちづくり計画の策定、未来の大人応援プロジェクト(SBP)、ふるさと応援寄附金のお礼、各地区の話題、などを掲載	—



▲9月9日の意見交換会参加者、天草拓心高校にて

※SBP…Social Business Projectの略で、地域課題をビジネスの手法を用いて解決していくという取り組みです。具体的には、若者(高校生)が中心となり、地元にある地域資源(人、モノ、自然、歴史、産業など)と交流し、見直し、活用して「まちづくり」や「ビジネス」を提案していく。そして、その取り組みを地域で応援し支えていくというものです。



◇第4回

【講師】柳谷自治公民館長 豊重 哲郎氏

【期 日】平成31年2月20日
【場 所】天草市民センター
大会議室

【参加者】54人

最終回である今回は、まとめとして受講者から意見・感想・質問を発表してもらい、そのことに対して、豊重氏が助言などコメントを行う形式で行いました。

豊重氏より意見を求められた受講者からは、第2回の福祉、第3回の農産加工のことについて、印象に残っていることや考えていることを発表するとともに、豊重氏に対して、どうしてそんなに長期間意欲的に活動できるのか、次のリーダーになってもいい人はいるが、なかなか引き受けてもらえないなどといった質問や意見がなされました。豊重氏からは、「多くの人から選ばれたことを胸に大切に活動していること」、「地域全員に参加してもらうために1割の反目者への対応に苦心

したこと」、「企画する際のヒントとして、どうやったら人が来ないか、どうやったら相手に負けるかなど逆説的に考えるアイデアが浮かびやすいこと」、「健康寿命を延ばすために、地区でこらばん体操を導入したこと」、「活動のためには、自主財源が必要で、地域内だけでなく、通販など地域外からも多く購入してもらう必要があること」、「商品については、なじみのある物語をラベルにしておくこと」などを話していただきました。受講されたみなさんには、この講座で学んだことを地域での活動に活かしていただければと思います。

まちづくり研修事業

【期 日】平成30年10月26日
【場 所】島根県邑南町
【参加者】16人

「まちづくり研修」事業は、まちづくりを推進する協議会委員の育成と特色あるまちづくり活動の展開を推進することを目的として研修を行う事



▲寺本 英仁氏

したこと、「企画する際のヒントとして、どうやったら人が来ないか、どうやったら相手に負けるかなど逆説的に考えるアイデアが浮かびやすいこと」、「健康寿命を延ばすために、地区でこらばん体操を導入したこと」、「活動のためには、自主財源が必要で、地域内だけでなく、通販など地域外からも多く購入してもらう必要があること」、「商品については、なじみのある物語をラベルにしておくこと」などを話していただきました。受講されたみなさんには、この講座で学んだことを地域での活動に活かしていただければと思います。

島根県邑南町を訪問し、A級グルメ構想について邑南町役場農林振興課 寺本英仁氏からその取り組みについて学ばせてもらいました。寺本氏より地元の食材や商品を都会へ売り込みに行ったが、一度にたくさん供給できないことや取り扱いできない期間が限定されるなど、あまり地域振興にはつながらないと感じた。地元には、少量だがこだわって作っているいい食材がある。売り込みに行くのではなく、こちらへ来てもらいたい。A級には、永久の意味も込められている。地域の人と話をするなかで、食と農に関心があることがわかり、平成23年から邑南町では、地域の厳選食材を味わえる町営レストランを運営している。また、将来、飲食店を起業するために必要な技術を学ぶことができる食の学校も運営し、町内には、開業したお店が次々とオープンしている。食と農に焦点をあて、田舎であっても地域が元気になる取り組みは今後の天草でも参考になるのではないかと思います。

協議会だより発行事業

【1回目】平成30年10月1日 号(V01.21) 発行
【2回目】平成31年4月1日 号(V01.22) 発行
【配 布】本渡地域の全世帯

「協議会だより発行」事業は、本協議会の活動や各地区のまちづくりに関するさまざまな情報を広く発信することを目的として、年2回本渡地域の全世帯へ広報紙の配布を行う事業です。本年度は、1回目を平成30年10月1日号(V01.21)として発行し、今回2回目を

平成31年4月1日号(V01.22)として発行いたしました。多くの地域住民の皆さんのまちづくり活動に対する理解や、まちづくり活動への積極的な参画に向けて啓発を行っています。

未来の大人応援プロジェクト(SBP)

昨年3月13日に開催した講演をきっかけに、天草拓心高校と本会で未来の大人応援プロジェクト(SBP)実施に向けた協議を行い、学校と地域が協働して実施していくことを確認しました。その後、9月10日に岸川政之氏やSBP実践校である三重県立南伊勢高校が天草拓心高校に訪問し、講演、事例発表、意見交換会を実施しました。さらに、12月10日にも岸川氏に来所いただき、学校及び本会との協議を行っていただきました。今年度から学校内に部活動として発足し、本会も活動を支援する予定です。また、岸川氏も外部専門家として引き続き、助言していただく予定です。



佐伊津町町内一周駅伝大会!

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀

1月13日に第43回佐伊津町町内一周駅伝大会を実施しました。

競技は、地区対抗の部に10チームとオープン部に7チームが参加し、町内を3周する全長12.2Kmのコースで行いました。

全189人のランナーが10区間でタスキをつなぎ、優勝目指してチームのために力走してくれました。優勝は浜洲区で、みごと二連覇を達成しました。次回も町全体で歴史ある駅伝大会を盛り上げて行きたいと思ひます。

「宮地岳かかし村」開村しています!

宮地岳地区振興会 会長 松川 莞爾

今年もまた、春の風物詩「宮地岳かかし村」が3月24日に開村しました。今年のテーマは「かかし村オリンピック」。来年開催される東京オリンピックに向けて、かかし達がオリンピック競技に挑みます。また、今では見られない、昔の農具や遊び、お祭りなど昔なつかしい情景を楽しむことができます。宮地岳町民の人口を越す勢いで増え続ける約420体の表情豊かな「かかし」たちが皆さんのお越しをお待ちしています。春の陽気に誘われて「宮地岳かかし村」で心癒せる時間を過ごしてみませんか。かかしの展示は5月6日頃までです。



▶ 昨年の展示テーマ「土掘きの風景」から

学校と地域が協力して町民向けベンチ4脚を製作

本町地区振興会 会長 岡部 養一



▲ベンチ製作者のみなさん

天草支援学校の高等部1年生18名が11月下旬から12月上旬にかけて「地域協働学習」として木製ベンチづくりに取り組みました。

本町地区振興会からは元大工ら4名が手伝う形で協力しました。生徒それぞれが作業分担しながら熱心に取組んだ結果、見事なベンチが完成しました。12月17日に贈呈式を行った後、旧本町中学校グラウンドに設置しました。

今後さらに学校と地域の交流を深めていきたいと思ひます。

サイエンスショーで科学の楽しさを体験しました

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 清武

楠浦地区振興会では、子ども達に様々な体験をしておうと「子どもお楽しみ事業」を企画しています。今回は、12月22日に楠浦地区コミュニティセンターにて、九州サイエンスラボの石橋一樹先生をお招きし、サイエンスショーを開催しました。

次々に飛び出す驚きの実験に、子ども達は不思議な科学の世界へ引き込まれ、真剣な表情で見入っていました。会場は、驚きと興奮の中にも子供たちの笑顔があふれ、日ごろ体験できない科学の楽しさを肌で感じることができました。



▶サイエンスショーの様子



▶子どもたちに大人気の石玉ボウリング

第27回下浦町ふるさと祭りを開催しました!

下浦地区振興会 会長 松岡 政幸

2月3日、今年で27回目となる「石工・ぼんかんの里下浦町ふるさと祭り」を開催しました。毎年恒例となった石組の土台を用いた「巨大ぼんかんピラミッド」を始め、石作品の展示や各種出店など盛りだくさんのお祭りです。当日はあいにくの天気で、足元が悪い中での開催でしたが、くまモンやシンガーソングライターの進藤久明さん、市役所ハイヤ部の皆様などのステージは非常に盛り上がり、大勢のお客様に楽しんでいただきました。雨にも負けず下浦町の団結力を、これからもずっと引き継いでいきたいと思ひます。

就学前児童交流会を開催

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅晴

毎年、前期、後期の2回に分け新年度本渡南小学校へ入学する予定の幼稚園、保育園児の就学前交流会を実施しています。この交流活動で、小学校入学前の子ども同士が顔見知りとなり、各園との交流を通じて「小1の壁」を打開する一つのきっかけになればと開催しています。今年度の春から1年生となる園児達はグループに分かれ体操や運動遊びを楽しみ、友好の輪を深めることができました。



▶参加者のみなさん



◀ウォークラリーの様子

本渡北地区ウォークラリーを開催しました

本渡北地区振興会 会長 鶴田 克幸

2月3日節分の日に「第11回本渡北地区ウォークラリー」を開催しました。

当日はあいにくの雨でしたが、開催以来最多の175人となり、大いににぎわいました。ゴール後は参加者に豚汁、おにぎりが振舞われ、景品抽選会も盛り上がりしました。

今後もこのような行事を通して地域の絆を深めていきたいと思ひます。

みんなで楽しいクリスマス!

亀場地区振興会 会長 河野 昇

12月16日、第2回のクリスマス会を開催しました。当日は寒かったので、参加してもらえるか心配でしたが、昨年より多い70人の参加がありました。寒い時期ですが、子ども達に楽しい思い出を残したいと企画しました。今年もクリスマスにちなんだ紙芝居や「ジングルベル」など3曲を歌い、クリスマスリースづくりに挑戦しました。最後にサプライズとしてサンタさんが登場。サンタさんからプレゼントをもらい、子ども達は大変喜んでいました。また、今年は新たな取り組みとして、〇×クイズも行い、大変盛り上がりしました。来年も、多くの子ども達に参加してもらえよう企画していければと思ひます。



▲クリスマスリースを作っている様子

各地区の話題



◀ニュースポーツ体験の様子

初めてのニュースポーツ体験!!

志柿地区振興会 会長 福島 実

平成30年度新規事業として、12月23日に小学生・中学生がニュースポーツを体験しました。

これは、子ども達が、楽しく体を動かしながらゲーム感覚でニュースポーツを体験してもらい、子ども達の交流を図ることを目的に開催しました。

初めての開催でしたが、市のスポーツ推進委員さんたちの指導の下、参加した子どもたちは笑顔で楽しんでいました。最後には、ピンゴゲームで盛り上がりました。子どもたちの成長を祈りながら、来年度も「行って良かった楽しかった」と言ってもらえるような事業にしていきたいと思います。

高齢者のための交流学習!

伊宇土地区振興会 会長 菅原 一男

年6回行われている高齢者学級では、教養講座として絵手紙を描いたり、健康講座として百歳体操やレクリエーションゲームを楽しんだり、また、日帰り研修では、世界文化遺産に登録された崎津教会や崎津資料館を訪れ、信仰の深さや天草の素晴らしさにふれました。

参加された総勢79人の皆さんにとっては、知識や技術を身に付け楽しく交流ができた学級となったことでしょう。



◀交流学習の様子

ほんどのいま

平成31年3月1日現在
(H30.9.1との比較)

【本渡南】 男……………3,979人 (- 20)
女……………4,585人 (- 15)
計……………8,564人 (- 35)
世帯数……………3,863 (- 8)
高齢化率……………32.4%

【本渡北】 男……………5,451人 (+ 49)
女……………5,900人 (+ 34)
計……………11,351人 (+ 83)
世帯数……………4,913 (+ 48)
高齢化率……………23.0%

【亀場】 男……………2,040人 (+ 2)
女……………2,328人 (+ 12)
計……………4,368人 (+ 14)
世帯数……………1,808 (+ 4)
高齢化率……………24.1%

【栢宇土】 男……………307人 (- 2)
女……………323人 (0)
計……………630人 (- 2)
世帯数……………262 (- 4)
高齢化率……………43.2%

【志柿】 男……………1,295人 (- 14)
女……………1,519人 (- 13)
計……………2,814人 (- 27)
世帯数……………1,222 (- 3)
高齢化率……………34.6%

【下浦】 男……………808人 (- 5)
女……………953人 (- 8)
計……………1,761人 (- 13)
世帯数……………772 (+ 1)
高齢化率……………43.1%

【楠浦】 男……………1,149人 (- 3)
女……………1,274人 (- 9)
計……………2,423人 (- 12)
世帯数……………1,000 (- 7)
高齢化率……………36.3%

【本町】 男……………844人 (- 3)
女……………896人 (- 10)
計……………1,740人 (- 13)
世帯数……………837 (- 2)
高齢化率……………38.4%

【佐伊津】 男……………1,547人 (- 10)
女……………1,703人 (- 7)
計……………3,250人 (- 17)
世帯数……………1,424 (+ 7)
高齢化率……………35.3%

【宮地岳】 男……………247人 (- 2)
女……………257人 (- 2)
計……………504人 (- 4)
世帯数……………241 (0)
高齢化率……………51.0%

【合計】 男……………17,667人 (- 8)
女……………19,738人 (- 18)
計……………37,405人 (- 26)
世帯数……………16,342 (+ 36)
高齢化率……………30.5%

■編集・発行

本渡まちづくり協議会

【事務局】

天草市 地域振興部
まちづくり支援課

〒863-0023
熊本県天草市中央新町15番7号
TEL 0969-32-6661
FAX 0969-23-1999

E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

善意の寄付

ありがとうございました (敬称略)

[平成30年9月~平成31年2月 本渡まちづくり協議会受領分]

○ふるさと応援寄附金として

中村 尚登 (静岡県)	山下真由美 (東京都)
藤森 昇 (長崎県)	山田 眞康 (神奈川県)
松本真由美 (埼玉県)	寺澤 希 (熊本県)
福田 良治 (東京都)	四宮 義和 (熊本県)
松下 功 (千葉県)	窪田 光男 (大阪府)
足立 伸也 (東京都)	石黒 忠男 (埼玉県)
益田 浩介 (福岡県)	御園生哲郎 (千葉県)
中山 実 (愛知県)	西山 秀樹 (栃木県)
坂田 輝久 (熊本県)	上田 隆俊 (熊本県)
金子 幹司 (福岡県)	飯田 和利 (神奈川県)
田西 裕之 (滋賀県)	本竹 真徳 (福岡県)
田中 信男 (東京都)	久保 規 (栃木県)
小島 義博 (熊本県)	乗富 晴美 (大阪府)

※その他、47人の方々にご寄附をいただきました。

? 「ふるさと納税」って?

名称に「納税」とありますが、新たに税金を納めるものではなく、正確には市区町村や都道府県などの地方自治体への寄附のことを言います。出身地や応援したい自治体へ寄附することで、寄附者が住む自治体に納める住民税などの軽減が受けられるため、実質的に自分が納める税の一部を応援したい自治体へ移すようなイメージになります。天草市では、名称を「**天草市ふるさと応援寄附金**」として寄附を受け付けています。

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。

市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようよろしく願いいたします。